

8月は1%増の203万TEU、過去最高

■アジア発米国向け、海事センター調査

日本海事センターが29日に発表した8月のアジア18カ国・地域発米国向け東航コンテナ荷動き量（速報値）は、前年同月比1.3%増の203万486TEUとなった。2カ月ぶりに前年同月実績を上回り、2カ月連続で200万TEU超となった。8月実績として過去最高を更新した。1～8月累計では前年同期比0.2%増の1481万5257TEUとなった。

8月と1～8月累計の積み地国・地域別コンテナ輸送量は表のとおり。日本海事センターがPIERSのデータをもとに毎月作成しているもので、速報値ベースでの発表のため後日修正が加わる場合がある。

8月の国・地域別の輸送量は、中国出しが0.1%増の100万6948TEUと微増だった。日本出しと台湾出しは減少したが、韓国出しは増加した。アセアン出しは6.8%増の64万7248TEUとなった。物量の多いベトナム出しが4.6%増の33万192TEU、タイ出しが11.3%増の12万8696TEUと増加した。一方で、フィリピン出しやマレーシア出し、ミャンマー出しは減少した。南アジア出しは10.8%減の14万4040TEUと2ケタ減だった。インド出しが13.7%減の10万7356TEUと落ち込んだほか、パキスタン出しも15.6%減の1万3401TEUと減少した。バングラデシュ出しは15.1%増の1万5230

TEUと増加した。

品目別では、家具・寝具などが0.1%増の31万5856TEU、繊維類およびその製品が0.8%減の20万3000TEU、機械類が2.1

%減の19万8869TEU、プラスチック・その製品が8.9%増の19万933TEU、電気機器・AV機器などが2.8%減の14万9659TEUとなった。

8月の米国内地域別荷動きの構成比は、西岸向けが53.2%（7月は53.6%）、東岸向けが34.4%（同32.5%）、ガルフ向けが7.6%（同7.5%）、その他が4.8%（同6.4%）となった。

日本海事センターがドゥルーリーのデータに基づいて発表したアジア発米国向けの8月のコンテナ運賃水準は、上海発ロサンゼルス向けが前年同月比約2.7倍の6830ドル/

2026年8月のアジア発米国向け国・地域別荷動き

	8月			1～8月累計	
	荷動き(TEU)	前年同月比(%)	シェア(%)	荷動き(TEU)	前年同月比(%)
18カ国・地域合計	2,030,486	1.3	100.0	14,815,257	0.2
日本	56,086	▲3.2	2.8	438,204	▲4.1
韓国	121,015	8.0	6.0	875,026	▲4.4
台湾	50,504	▲8.5	2.5	406,182	▲11.9
中国+香港	1,011,592	0.1	49.8	7,288,173	▲2.9
(中国)	1,006,948	0.1	49.6	7,255,988	▲2.8
(香港)	4,643	▲0.9	0.2	32,185	▲11.3
マカオ	2	—	0.0	18	▲86.1
アセアン計	647,248	6.8	31.9	4,746,040	10.6
(シンガポール)	13,640	4.1	0.7	94,316	▲5.7
(フィリピン)	13,004	▲1.9	0.6	94,953	▲1.9
(マレーシア)	45,383	▲6.8	2.2	352,028	1.0
(インドネシア)	67,211	8.4	3.3	466,971	9.3
(タイ)	128,696	11.3	6.3	973,248	17.4
(ベトナム)	330,192	4.6	16.3	2,448,630	7.9
(カンボジア)	48,074	33.9	2.4	308,708	46.8
(ミャンマー)	1,048	▲36.3	0.1	7,185	▲19.9
南アジア計	144,040	▲10.8	7.1	1,061,614	▲8.2
(スリランカ)	8,052	▲0.1	0.4	57,903	5.1
(バングラデシュ)	15,230	15.1	0.8	105,187	7.1
(パキスタン)	13,401	▲15.6	0.7	93,795	▲8.0
(インド)	107,356	▲13.7	5.3	804,729	▲10.7

FEU、上海発ニューヨーク向けが約2.5倍の9290ドル/FEUだった。横浜発ロサンゼルス向けは76.5%増の7139ドル/FEU、横浜発ニューヨーク向けは36.0%増の8649ドル/FEUとなった。前月比では、上海発の運賃が上昇する一方で、横浜発は下落した。

日本海事センターは、「ピークシーズンとなり、8月実績として過去最高を更新した。引き続きベトナム積み荷量が増加しているほか、中国積みも一時期は落ち込んだが、8月は100万TEUを超えるなど回復している。荷動きは好調に推移している」と説明した。